

## 日本仏教の歴史Ⅱ

—「もの」と文献から見る古代日本の仏教文化—

講師 = <sup>クドウケンイチ</sup>工藤健一 (本学文学部・短期大学部講師)

時間 = 18:30 ~ 20:00

受講定員 = 40人

受講料 = 12,000円

■ テキスト：プリントを配付します。

## スケジュール

- ① 6月24日 (水) 古代国家の展開と仏教
- ② 7月 1日 (水) 東大寺の創建
- ③ 7月 8日 (水) 大仏の思想
- ④ 7月15日 (水) 南都六宗の成立
- ⑤ 7月22日 (水) 鑑真と戒律
- ⑥ 7月29日 (水) 民衆と仏教
- ⑦ 8月 5日 (水) 神と仏

## 講座内容

奈良時代は日本の本格的な古代国家の完成期でした。また、東大寺をはじめとする巨大な寺院が次々に建立された時代でもあります。古代国家と仏教は深い関わりがあります。また、民衆に対する布教活動や、日本の神と仏教の新たな関係など、奈良時代の仏教は様々な展開をみせます。本講座では仏像や絵画といった「もの」と文献をあわせてとりあげ、奈良時代の仏教の歴史と文化を多角的に学びます。

## 講師プロフィール

青山学院大学大学院博士後期課程単位修得退学。東京大学史料編纂所古代史料部非常勤所員、聖学院大学講師を経て、現在、鶴見大学・玉川大学・青山学院大学講師。